

彙 報

研究活動等 (2018年1月～2018年12月)

総合政策学科

石山 宏

1. 著 書

- (1) 『スタートアップ会計学 (第2版)』(共著) 同文館出版, 2018年2月。
- (2) 『検定簿記講義/2級商業簿記<平成30年度版>』(共著) 中央経済社, 2018年4月。
- (3) 『検定簿記ワークブック/2級商業簿記<第4版>』(共著) 中央経済社, 2018年4月。

2. 社会活動等

- (1) 山梨県出資法人経営検討委員会委員
- (2) 甲府市上下水道事業推進会議委員

熊谷 隆一

1. 学会報告等

- (1) 学会ポスターセッション (共同)
「四菱まちづくり総合研究室 — 甲府市中心街で学生が主体的に運営する『まちなか研究室』— 2018年度の活動報告—」(8月25日、自治体学会青森大会、リンクモア平安閣市民ホール)

2. 報告書

- (1) 「よつびし総研プレゼンツ 甲府! おもてなしBOOK5」(四菱まちづくり総合研究室、2018年3月30日発行、編著)
- (2) 「2017年度よつびし総研活動報告書」(四菱まちづくり総合研究室、2018年3月9日発行、編著)
- (3) 「自治体学会青森大会ポスターセッション 四菱まちづくり総合研究室 — 甲府中心街活性化を目指して学生が主体的に運営する『まちなか研究室』(『自治体学Vol. 32-1』自治体学会発行、2018年11月30日、p.29、単著)

3. その他

- (1) 識者談話 (単独)
「検証後藤県政6 伝わらない経緯どう説明」(『山梨日日新聞』2018年8月15日付)
- (2) 識者談話 (単独)
「北杜市 民間団体に約220万円返還請求へ」(YBSテレビ『YBS ワイドニュース』2018年11月26日放送)
- (3) 識者談話 (単独)
「知事選焦点～人口問題」(YBSテレビ『YBS ワイドニュース』2018年12月7日放送)
- (4) 社会的活動 (アドバイザー)
「四菱まちづくり総合研究室」教員顧問団幹事 (2007年4月14日～、継続)
- (5) 社会的活動 (学会理事)
富士学会常務理事 (2015年4月1日～、継続)
- (6) 社会的活動 (学会評議員)
自治体学会企画部会員 (地域選出) (2016年8月19日～、継続)
- (7) 社会的活動 (研究員)
(株)神奈川県地方自治研究センター特別研究員 (2005年4月～、継続)
- (8) 社会的活動 (委員)
平成30年度映画等ロケ地活用推進委員会
会委員 (甲府商工会議所、2018年6月～)

黒羽 雅子

1. 論 文

- (1) 単著「鈴木良作の経営思想と地方銀行中央機関設立構想 — 全国地方銀行協会の設立を巡って (その1) —」(『山梨国際研究』2018-03-19, pp21-35.)

2. 学会発表等

- (1) 単著「準州時代 (1854-67年) のネブラスカ銀行業—ネブラスカ州銀行業の特徴はどの

ように形成されたかー」地方金融史研究会3
月例会2018年3月23日

3. 社会活動 (2018年12月末日現在)

- (1) 山梨県総合評価委員 (2016年4月～現在)
- (2) 山梨県固定資産税評価委員 (2015年9月～現在)
- (3) 明日の建設業を考える山梨会議委員長 (2018年10月～現在)

4. 競争的資金の獲得

- (1) 平成29年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (基盤研究 (C) (一般)) 「米国における銀行破綻処理手法の発展に果たした州法預金保険制度の歴史的意義」 (平成29～31年度)

二宮浩輔

(1) 特別研修

米コロンビア大学東アジア研究所客員研究員

Kevin C. Browne

Conference Presentations

1. (June 9, 2018). Applying language testing methodology to pronunciation pedagogy. The Fifth Annual Conference on Global Higher Education at Lakeland University Japan. Tokyo.
2. (October 13, 2018). How test raters' accent familiarities are affecting TOEFLiBT pronunciation scores. The 26th Annual Korea TESOL International Conference: Focus on Fluency. Seoul, Korea.

Others

1. (Research paper in press). Intelligibility in World Englishes. *The Concise Encyclopedia of World Englishes*. Wiley.

箕浦一哉

1. 著書

- (1) 「「住み分け」による移住者のコミュニティ

参加——山梨県北杜市大泉町の事例から」、鳥越皓之・足立重和・金菱清編著『生活環境主義のコミュニティ分析』ミネルヴァ書房、pp. 269-287、2018.

2. 学会発表

- (1) 箕浦一哉「音風景を用いた市民事業による地域文化の発見：「北播磨の音風景」の取り組みから」日本サウンドスケープ協会2018年度秋季研究発表会, 青山学院アスタジオ (渋谷区), 2018年12月2日.
- (2) 箕浦一哉・土田義郎「浜松市の政策における音環境」日本サウンドスケープ協会2018年度秋季研究発表会, 青山学院アスタジオ (渋谷区), 2018年12月2日.

森田玉雪

1. 論文・図書

- (1) 森田玉雪・馬奈木俊介 (2018) 「自動運転車が生み出す需要と社会的ジレンマ」, RIETI ディスカッション・ペーパー: 18-J-004, 経済産業研究所.
- (2) 森田玉雪・馬奈木俊介 (2018) 「自動運転機能に対する支払意思推計手法の検討」, 『山梨国際研究: 山梨県立大学国際政策学部紀要』第13号, pp. 71-80.
- (3) Morita, Tamaki, Kimika Yamamoto, and Shunsuke Managi. (2018) "The Relationship between School-Based Career Education and Subsequent Incomes: Empirical Evidence from Japan." *Economic Analysis and Policy* 58, pp. 70-87. (査読有)
- (4) 東田啓作・森田玉雪 (2018) 「エコラベル (環境ラベル)」環境経済・政策学会編『環境経済・政策学事典 (第10章 経済研究と実証研究のフロンティア)』pp. 610-611, 丸善出版.
- (5) Morita, Tamaki, Keisaku Higashida, Yasuhiro Takarada and Shunsuke Managi (2018) "Does Acquisition of Mineral Resources by Firms in Resource-Importing Countries Reduce Resource

Prices?" *Resources Policy* 58, pp. 97–110.

(査読有)

- (6) 森田玉雪・馬奈木俊介 (2018) 「誰が自動運転車を購入するのか」, 馬奈木俊介編著『人工知能の経済学』ミネルヴァ書房, 第7章, pp. 205–236.

2. 外部資金研究

- (1) 科学研究費補助金 (基盤研究B), 研究代表者. 課題番号26285057 「エコプロダクツの貿易自由化が生み出す効率性と多様な軋轢の経済分析」 (2014年4月～2018年3月)

3. その他

- (1) 独立行政法人経済産業研究所「人工知能のマクロ・ミクロ経済動態に与える影響と諸課題への対応の分析」研究会メンバー
 (2) 山梨地方最低賃金審議会委員
 (3) 論文査読: *Economic Research-Ekonomska Istraživanja* (Taylor & Francis)

国際コミュニケーション学科

張 兵

1. 著作

- (1) 『建設国際一流的和諧宜居之都研究』(中国語)、共著、社会科学文献出版社2017年12月

2. 論文

- (1) 「日本東京的基層管理体制及其啓示—以新宿区的特別弁事処為例」(中国語、査読付)、単著、首都社会経済発展研究所『北京調研』2018年第5期

- (2) 「東京的城市管理」(中国語、査読付)、単著、首都社会経済発展研究所『北京調研』2018年第8期

3. 社会貢献

- (1) 山梨県教育委員会SGH(スーパーグローバルハイスクール)運営指導委員(2018年度)
- (2) NPO法人山梨県中国語・国際交流会副理事長(2018年度)
- (3) NPO法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会副代表理事(2018年度)
- (4) 日中関係学会宮本賞推薦委員(2018年度)
- (5) 日本華人教授会議会員(2018年度)
- (6) 第42回山梨県教職員文化展書道部門出品(2018年1月23～28日山梨県立美術館)
- (7) 第46回「日本の書展」入選(2018年6月14～24日国立新美術館)

伊藤ゆかり

1. 論文

- (1) 単著(2018年3月)「現代劇作家が見つめる南北戦争」、山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第13号、pp.11-20

2. 学会発表

- (1) パネル発表、"The Theatre of Ghosts and the Other under the Threat of Mass Deaths: The Theatre of Mobility and Stasis of Toshiki Okada", IFTR World Congress Belgrade 2018(2018年7月11日、於 ベオグラード大学)

3. その他

- (1) 教員免許状更新講習選択講座「英語教育における小中連携の充実を目指す講座」講師(2018年7月29日、於 山梨県立大学)

大村 梓

1. 論文等

- (1) 単著(2018年5月)、「翻訳に現れる「僕」と「鼠」の物語：英訳Pinball, 1973」、『第7回村上春樹国際シンポジウム予稿集』、91-98

2. 学会発表

- (1) 単独(2018年3月)、『Exoticism in Translation Murakami Haruki's 'A Slow Boat to China', Colloque international "Haruki Murakami au présent et au future", Strasbourg, France
- (2) 単独(2018年5月)、「翻訳に現れる「僕」と「鼠」の物語：英訳Pinball, 1973」、2018年度村上春樹国際学術検討会、淡江大学村上春樹研究センター、台湾
- (3) 単独(2018年9月)、『A Successor or a Pioneer: Horiguchi Daigaku and Japanese Poetry in Literary Magazines', Association for Japanese Literary Studies the 27th Annual Meeting, UC Berkeley, California, USA

高野美千代

1. 研究論文等

- (1) [論文] 単著「ベンジャミン・キーチと非国教徒プリントカルチャー」『山梨国際研究』第13号、37-46頁、2018年3月
- (2) [資料報告] 共著「小学校英語教育のための地域教材作成の試み」『山梨国際研究』第13号、81-90頁、2018年3月

2. 研究発表・報告等

- (1) [単独] "Camden and Dugdale: Studying Monumental Inscriptions for Posterity" 科研費国際研究集会 William Camden and Early Modern Antiquarianism 2018年1月

- 8日(甲府市、山梨県立図書館)
- (2) [共同]「国際文芸交流を通して地域文化の基盤を創造する研究プロジェクト」研究報告、山梨県立大学地域研究交流センター地域研究プロジェクト報告会、2018年3月(山梨県立大学)
3. 地域貢献・各種講演会企画運営等
- (1) 教員免許更新講習選択科目小中教諭対象英語科運営担当(2018年7月、於 山梨県立大学)
- (2) 国際政策学部英語特別講演会企画運営 講師：モーラ・ドゥーリ氏(ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ教授)(2018年11月、於 山梨県立大学)
4. 外部資金による研究活動
- (1) 科研費基盤研究Bによる共同研究事業・国際研究集会 William Camden and Early Modern Antiquarianism 主催、2018年1月8日(甲府市、山梨県立図書館)

名和 敏光

【国際シンポジウムの開催】

1. 2018年度国際シンポジウム『「天地瑞祥志」を中心とした前近代東アジア思想・文化の総合的研究』、2018年9月8日、於山梨県立大学サテライト教室、公益財団法人高橋産業経済研究財団助成金による。

【表彰等】

1. 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所研究員、2018年5月～現在。
2. 山東大学儒学高等学院国際漢学研究中心兼職教授、2018年5月～現在。
3. 東京大学文学部・大学院人文社会系研究科非常勤講師(中国思想文化学特殊講義：中国出土資料学講義)、2018年4月～9月。

【学術論文】(全て単著)

1. 「北京大学漢簡「堪輿」と馬王堆帛書『陰陽五行』甲篇「堪輿」の対比研究」『中国出土資料の多角的研究』、汲古書院、2018年3月、323～347頁、査読無、日本語。

2. 「日本藏魏三體石經殘碑簡介」『“國際尚書學會”第五屆學術研討會會議論文集』、國際尚書学会、2018年4月、320～330頁、査読有、中国語。
3. 「『斷易天機』諸本簡介」『第二屆東亞易學國際研討會會議論文集』、中国周易学会、2018年5月、268～277頁、査読有、中国語。
4. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《徙》《天地》《女發》《雜占之二》綴合校釋」『先秦秦漢史公衆号 漢簡專号』、武漢大学HP、2018年5月、査読有、中国語。
5. 「“皋”與“罽”」『楚文化與長江中游早期開發國際學術研討會會議論文集(下)』、武漢大学、2018年9月、96～103頁、査読有、中国語。
6. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之六》、《築(二)》、《五行禁日》綴合校釋(修訂版)」『世界漢字學會第六屆年會議論文集』、世界漢字学会、2018年10月、44～56頁、査読有、中国語。
7. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《堪輿》綴合校釋 上」『出土文獻與中國經學、古史研究國際學術研討會會議論文集(上)』、華東師範大学、2018年11月、320～332頁、査読有、中国語。
8. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《堪輿》綴合校釋 下」『湖北出土簡帛日書國際學術研討會會議論文集』、湖北省博物館、2018年11月、89～100頁、査読有、中国語。
9. 「『抱朴子』所見呪語の遡及的考察」『東方宗教』第131号、日本道教学会、2018年11月、単著、1～20頁、査読有、日本語。

【学会報告・招待講演】(全て単独)

1. 「日本藏魏三體石經殘碑簡介」、「國際尚書學會”第五屆學術研討會(於甘肅省蘭州市西北師範大学)、2018年4月28日。
2. 「『斷易天機』諸本簡介」、第二屆東亞易學國際研討會(於山東省山東大学)、2018年5月27日。
3. 「新出土医史籍をめぐる二、三の考察」、日中医学史セミナー2018 in Kyoto — 伝統

医療文化の問題圏（於京都大学人文科学研究所）、2018年6月15日。

4. 「“皋”與“羴”」、楚文化與長江中游早期開發國際學術研討會（於武漢大学）、2018年9月15日。
5. 「書道：秦漢の古文字を書いてみる（出土簡帛研究最前線）」、人文研アカデミー2018「技芸の伝統と学問：中国ユネスコ無形文化遺産」（於京都大学人文科学研究所）、2018年9月28日。
6. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《雜占之六》、《築（二）》、《五行禁日》綴合校釋（修訂版）」、世界漢字學會第六屆年會（於Konfuzius-Institut Nürnberg-Erlangen）、2018年10月6日。
7. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《堪輿》綴合校釋 上」、出土文獻與中國經學、古史研究國際學術研討會（於華東師範大学）、2018年11月2日。
8. 「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》甲篇《堪輿》綴合校釋 下」、湖北出土簡帛日書國際學術研討會（於湖北省博物館）、2018年11月10日。

【獲得資金】

1. 研究代表者、日本學術振興会科学研究費補助金（基盤研究（C）、研究課題番号：16K02157、研究協力者：武田時昌（京都大学教授）、末永高康（広島大学教授）、宮本徹（放送大学准教授）、総額：4,810千円）、「中国古代の陰陽五行－占と科学の成立－」、2016年4月～2019年3月。（継続）
<https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-16K02157/> 参照。
2. 研究代表者、公益財団法人高橋産業経済研究財団助成金（総額：3,500千円）、「『天地瑞祥志』を中心とした前近代東アジア思想・文化の総合的研究」、2016年4月～2019年3月。（継続）
<http://takahashi-f.or.jp/aid/pdf/list2018.pdf> 参照。
3. 研究分担者、日本學術振興会科学研究費補助金（基盤研究（B）、研究課題番号：

15H03157、総額：14,890千円、水上雅晴（中央大学教授）、「年号勘文資料の研究基盤の構築」、2015年4月～2019年3月。（継続）
<https://kaken.nii.ac.jp/d/p/15H03157.ja.html> 参照。

4. 研究分担者、日本學術振興会科学研究費補助金（基盤研究（B）、研究課題番号：16H03466、総額：15,600千円、水口幹記（藤女子大学准教授）、「前近代東アジアにおける術数文化の形成と伝播・展開に関する学際的研究」、2016年4月～2019年3月。（継続）
<https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-16H03466/> 参照。

【国際学会参加等】

1. “國際尚書學會”第五屆學術研討會、2018年4月28～29日、於甘肅省蘭州市西北師範大学、學術報告。
2. 第二屆東亞易學國際研討會、2018年5月26～27日、於山東省山東大学、學術報告。
3. 日中医学史セミナー2018 in Kyoto — 伝統医療文化の問題圏、2018年6月15日、於京都大学人文科学研究所、學術報告。
4. 第一屆「出土文獻與古代文明：新視野下的早期中国史」青年學者研討會、2018年8月25～26日、於清華大学、部会主持・報告評価。
5. 楚文化與長江中游早期開發國際學術研討會、2018年9月15～18日、於武漢大学、學術報告。
6. 世界漢字學會第六屆年會、2018年10月6～7日、於Konfuzius-Institut Nürnberg-Erlangen、學術報告。
7. 出土文獻與中國經學、古史研究國際學術研討會、2018年11月2日、於華東師範大学、學術報告。
8. 湖北出土簡帛日書國際學術研討會、2018年11月10日、於湖北省博物館、學術報告。

【学会役員・その他】

1. 中国出土資料学会理事、2016年4月～現在。
2. 日本道教学会評議員、2014年1月～現在。
3. 東京大学東洋文化研究所研究班「中国古代文獻の成立に関する多角的研究」研究員、研

究代表者:小寺敦准教授、2009年4月～現在。
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group.html>参照。

4. 京都大学人文科学研究所共同研究班「東西知識交流と自国化——汎アジア科学文化論」研究員、班長:武田時昌(京都大学人文科学研究所教授)、2017年4月～2019年3月。
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/kyodokenkyu/tozaichishikikoryu.htm>参照。
5. 立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所研究員、2018年5月～現在。
6. 山東大学儒学高等学院国際漢学研究中心兼職教授、2018年5月～現在。
7. 東京大学文学部・大学院人文社会系研究科非常勤講師(中国思想文化学特殊講義:中国出土資料学講義)、2018年4月～9月。

二戸麻砂彦

1. 著作

- (1) 共著「身延高等学校・山梨県立大学連携事業」(2017年度 地域研究交流センター研究報告書、2018年03月)
- (2) 共著「甲府城西高等学校・山梨県立大学連携事業」(2017年度 地域研究交流センター研究報告書、2018年03月)

2. その他

- (1) 2017 巻頭言(2017年度 地域研究交流センター研究報告書、2018年03月)

萩原孝恵

1. 論文

- (1) 萩原孝恵(2018)「笑いの異文化コミュニケーション——タイ人のフェイスとコミュニケーション・ストラテジー」『第3回国際シンポジウム紀要——グローバル化時代における日本語教育と日本研究』69-80. [査読有](科研JP16K02633)
- (2) 萩原孝恵、池谷清美(2018)「タイ人日本語学習者がインタビューテストで笑うとき」『山梨県立大学 国際政策学部紀要』第13号:

47-57. (科研JP16K02633)

- (3) 稲積宏誠、宮治裕、寺尾敦、勝谷紀子、東るみ子、森田武史、大野博之、萩原孝恵、池谷清美、Kanokwan L. Katagiri (2018)「タイ人日本語学習者の学びを支援する——書く能力・話す能力向上へ向けたICT活用と日本語教育のコラボレーション」『研究成果報告論集』(青山学院大学総合研究所総合文化研究部門課題別研究部)

2. 共同開発

- (1) 「タイ人日本語学習者話し言葉コーパス」2018年3月一般公開
<https://ctjc.si.aoyama.ac.jp/index.html>

3. 研究発表

- (1) 萩原孝恵(2018)「笑いの異文化コミュニケーション——タイ人のフェイスとコミュニケーション・ストラテジー」2018年国際シンポジウム口頭発表、会場:ハノイ大学、2018/10(科研JP16K02633)
- (2) 萩原孝恵、池谷清美(2018)「苛立たない舌打ち——タイ人のマルチモーダルインタラクション」口頭発表、ヴェネツィア2018年日本語教育国際研究大会 Venezia ICJLE 2018、会場:Ca' Foscari University of Venice、2018/08(科研JP16K02633)
- (3) 萩原孝恵、池谷清美(2018)「日本人は気になるんですけど……——発話に共起するタイ人日本語学習者の舌打ち」タイ国日本語教育研究会第30回年次セミナー分科会口頭発表、会場:国際交流基金バンコク文化センター、2018/03(科研JP16K02633)
- (4) 稲積宏誠、萩原孝恵、池谷清美(2018)「タイ人日本語学習者に特化したOPIレベル情報付き話し言葉コーパス公開とその利用方法」タイ国日本語教育研究会第30回年次セミナー分科会口頭発表、会場:国際交流基金バンコク文化センター、2018/03(青山総研プロジェクト)

4. 研究活動

- (1) 研究代表、テーマ「タイ人の発話行為における言語随伴的な非言語・パラ言語行動に関

する実証的研究」科研費基盤研究(c)(一般)、平成28年度～平成30年度

(2) 共同研究、テーマ「よりよいコミュニケーションのための相槌や受け答え」日本語OPI研究会研究班

(3) 研究代表、平成30年度山梨県立大学地域研究交流センター・プロジェクト「多言語による高校進学ガイダンスの有効性——ロールモデルと高校ブース設置による波及効果」、地域研究課題支援事業 ①2018年7月8日第1回多言語による高校進学ガイダンス開催(後援:山梨県教育委員会、甲府市教育委員会、中央市教育委員会、笛吹市教育委員会、南アルプス市教育委員会)、②2018年11月4日第2回多言語による高校進学ガイダンス開催(後援:山梨県教育委員会、甲府市教育委員会、中央市教育委員会、笛吹市教育委員会、南アルプス市教育委員会、山梨県国際交流協会)

5. 講演

(1) 山梨県教育委員会 平成29年度第3回日本語指導センター校担当者会講演「DLAを用いた帰国・外国人児童生徒の言語能力の把握について」会場:山梨県防災新館、2018年2月27日

(2) 日本語OPI研究会「フィラーとの共起にみる舌打ちと笑い——タイ人日本語学習者の発話を表象する非言語行動の特徴」研究発表報告、会場:文京シビックセンター、2018年3月10日

6. 社会貢献

(1) 日本語教育関連

- ・子どもの日本語教育研究会 第3回ワークショップ in 山梨 開催実行委員長(主催:子どもの日本語教育研究会)、会場:山梨県立大学、2018年8月18日
- ・ユニタス日本語学校弁論大会 審査委員、会場:県民文化ホール、2018年8月30日
- ・日本語教育学会 2018年度第4回支部集会【関東支部】交流ひろば参加「受け答えにみられる不自然さの要因——OPIインタビュー時の『繰り返し』に着目して」(共

同発表)会場:文化外国語専門学校、2018年10月28日

(2) 地域社会

山梨県大規模小売店舗立地審議会委員、甲府市多文化共生推進計画策定委員会委員